

## 2017年関市の10大ニュース発表！！

関市は、2017年の主な出来事の中から上位10件を選び順位付けして「関市の10大ニュース」としました。

選定方法は、各部から選定された市内の主な出来事24件の中から、市の最高幹部会で投票し、得点数の多かった順に上位から10件としました。

50回目の開催を記念して様々な事業が開催されました

### 1位 「第50回刃物まつり」が盛大に開催！

～関連事業も盛りだくさん～（10月）

節目を迎える「第50回刃物まつり」が、10月7日、8日の2日間にわたり盛大に開催され、県内外や海外から約26万人の観光客にお越しいただきました。また、50回目の刃物まつり開催を記念し、1年を通じて市内外で様々な関連事業が開催、PRされるなど、まさに刃物まつり一色の1年となりました。



#### ～過去から未来へ～

- ・第20回刃物まつりで埋設したタイムカプセルを30年ぶりに掘り起こしました。カプセルには、当時の目玉商品や写真などが保管され、「思い出写真&ポスター展」で展示されました。
- ・30年後に開催される第80回刃物まつりに向け、タイムカプセルを埋設しました。



#### ～高校生の夢が形になりました～

- ・市内の若手経営者たちが結成した「日本刀アイスを作る会」が、高校生発案の日本刀アイスを製作し商品化に成功。刃物まつり当日も販売され、早々と売り切れました。
- ・関市と井村屋（株）の固い絆により、あずきバーを材料とした日本刀が完成し、刃物まつり当日に展示されました。



#### ～関鍛冶伝承館で魅力的な特別企画展が開催されました～

- ・「東建 × 刀剣展 ～五箇伝の名刀～」  
東建コーポレーション（株）の左右田社長が趣味で収集された貴重な日本刀をメインに展示されました。
- ・「鉄砲伝来展」  
国産鉄砲を日本で初めて製造した、関鍛冶 八板金兵衛清定の火縄銃「伝八板金兵衛清定作火縄銃レプリカ」や「ポルトガル初伝銃レプリカ」が鹿児島県西之表市から借用され、展示されました。
- ・「ライトセーバーと関鍛冶展」  
『スター・ウォーズ/最後のジェダイ』の公開を記念し、開催された企画展。関鍛冶 藤原兼房刀匠によって製作された、主人公のライトセーバーをモチーフにした日本刀「来人勢刃」（ライトセーバー）の展示を目玉に、映画の世界観を全身で体感できる企画展となりました。



## 2位 関市第5次総合計画基本構想を策定しました（9月）

2018年度から10年間を目標期間とする第5次総合計画基本構想を策定しました。新しい基本構想は、2018年度からの10年間を目標人口（10年後85,000人）や将来都市像を実現するために、「健康・福祉・子育て」「教育」「地域づくり・協働」「産業・経済・雇用」「防災・生活環境」「都市基盤整備・上下水道」「行財政・人口対策」の7つの政策により推進します。

将来都市像

「産業」を鍛え、「学び」を伸ばし、「文化」を磨き、  
未来を切り拓く「協働」のまち  
～ # Smart SEKIism ～

県内公営墓地初！

## 3位 関市墓地公園「合葬式墓地」が完成（11月）



少子高齢化や核家族化によりお墓を継ぎ守ることが困難になるなど、変化する社会情勢に対応するため、従来のお墓とは異なり、一つのお墓にたくさんの方の遺骨を合同で埋蔵する新しい形式のお墓を県内の公営墓地として初めて整備し、11月に完成しました。合葬式墓地内には個別埋蔵施設と共同埋蔵施設が設けられました。

## 4位 ひとり親家庭の子育て支援

「学習支援・子ども食堂」がスタート（7月）

ひとり親家庭の子どもを対象に、教員OBなどのボランティアの方が学力に不安のあるお子様に対して、学習習慣の定着および苦手科目の克服のために相談を含めた学習支援を無償で実施する“学習支援”と、ひとり親家庭の親御さんの子育て環境を支援するために、お子様に温かい食事と団らんする場所を提供する“子ども食堂”が7月からスタートしました。



## 5位 日本初！関市公認「包丁大使」を任命（9月）

包丁や料理への関心を高め、包丁の利用と購買を促進するためのPR活動を行う日本初の「包丁大使」を創設しました。包丁大使には、料理芸人として知識や実績を持ち、「包丁さばき」を得意とする「いけや賢二さん」（吉本興業所属）が任命されました。



## 6位 前回に引き続き、日本の人口重心地が関市に（9月）



## 7位 世界最大規模の見本市「ミラノ・サローネ」に 関の刃物を出展（4月）



## 8位 関商工高等学校が模擬株式会社

「Seki Shoko Company」を設立（5月）



## 9位 日本オープンゴルフ選手権優勝者

池田勇太さんへ日本刀を贈呈（10月）



## 10位 関チャレンジデー2017に関市が初参加

関市 42.1% VS 山形県鶴岡市 37.8%  
で初勝利を収める（5月）

